

韓国アイドルによる日本の若者への影響

茂木響美

要旨本文

この論文では、日本の若者に韓国が人気となった理由を、コロナ禍での新しい推し活コンテンツとして、韓国アイドルの人気がより高まったためであると捉えている。その結果、ファンの行動によって日本と韓国の経済に貢献し、韓国に対するイメージ改善にも効果が現れたことを証明しようと試みている。

そのための研究方法は、K-POP アイドルが人気となったということ、K-POP 消費率からみている。そして、若者の韓国好きを K-POP アイドルによる影響があることを証明する為、大学生を対象にアンケート調査を実施している。更に、韓国からの CD とコスメの輸出額のデータと、内閣府の韓国に対する世論調査から、イメージ改善度を考察している。

これらのことから、日本の K-POP 消費率はコロナ前よりも増加しており、BTS の活躍により日本での K-POP アイドルの人気が高まったことが分かった。調査からは、K-POP アイドルにより韓国が好きである人が多く、K-POP を聴かない人にも K-POP アイドルの認知度が高いことがわかり、コロナ禍であったが推し活を続ける人が多いことから、オンラインコンテンツの豊富さや満足度が高いことが分かった。また、韓国アイドルによって、若者のファン行動が、推し活以外での韓国製品の購買にも繋がっており、韓国に親しみを感じる人が増加していることにも、影響していることが分かった。

以上のことから、若者を中心に、韓国アイドルが人気であり、韓国自体も好きになり、結果ファンの行動が日韓での経済効果をもたらし、韓国に対するイメージをも良いものにしていくということが全ての章から証明することができた。